

# 県連ニュース

2022年9月 NO-542号



『南岳展望場より大キレットを望む』

滋賀県勤労者山岳連盟

## 2022年9月号 目次

- 1 巻頭言 シャクナゲ遡行クラブ 太田 理
- 2 第60回 登山祭典
- 3 交流登山 大和三山 比良雪稜会
- 4 交流登山 丹後 由良ヶ岳、赤石岳 湖南岳友会
- 5 交流登山 野坂山地・風力発電計画地における観察会 滋賀山友会
- 6 山と自然の写真展案内 比良雪稜会
- 7 初級登山教室報告「八淵の滝沢登り講習」
- 8 ステップアップ登山講座報告「餓鬼岳報告」
- 9 「ヒヤリハットで済まなかった事故」
- 10 ぐうたら会長のつぶやき
- 11 行事予定

表紙の写真『南岳展望場より大キレットを望む』  
2022.8.12 撮影 撮影者：川口辛二

## 「風が吹いたら」

シャクナゲ遡行クラブ 太田 理

8年ぶりに町内会長の役が、回って来た。前回は大概のことを、会計のおばさんがやってくれて、楽をさせてもらったが、今回は、若い男性が会計で、年代の違いか、何だかやりにくい。

町内会長には、町内の用事と学区内の用事がある。毎月、学区民の清掃活動がある。町内の住民が、参加の呼びかけをする立場上、8年前から児童公園の清掃活動に加わり、今も続けている。

清掃の対象は、ゴミと雑草と落ち葉が、主になる。雑草の刈込は、市が派遣した園芸業者もたまに来るので、部分的な作業だけで終えたりするが、落ち葉は、学区民が全部掃いて袋詰めにしないとイケない。季節が来ると、落ち葉の量は、大抵でなく、月に1回の清掃活動だけでは、間に合わなくなる。周辺道路には、吹き溜まりが出来てしまい。近所の住民から市に苦情が出されると、太い立木であっても、また朽ちて倒れる心配がある訳でもないのに、好ましい事のように切られてしまうのである。

現在、切り株が15個くらい、当たり前のように残っている。市に苦情を出す前に、清掃の手伝いに参加してくれと言いたいが、年にとって足腰がままならないのかもしれない。

今や公園の清掃は、立木の命を守る。重要な活動なのである。そこで時間を作っては、臨時の作業をしなければならない。しかし単独での作業は、腰がきついし、ゴミ袋にかかる費用も馬鹿にならない。

住民の高齢化は、公園の姿を変えつつあるということだ。京都市内には、大きな樹が生えていない。これが公園かと、ため息つきたくなるような児童公園が、増え始めている。

落ち葉の処理が満足に出来ないことで、立ち木が次々に切られていく。その事実を、これまで知らないでいたことが、残念でならない。

2022年

第60回

# 登山祭典



日程：2022年10月23日(日)  
(雨天中止)

(裏面をご覧ください)

参加したいコースの連絡先(メール、又は電話)へ直接お申込み願います。  
参加定員の関係で、お早めをお願いします。詳しくは、各コースの連絡先へ



<主催>

滋賀県勤労者山岳連盟

大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 1階 (〒520-0047)

大津市市民活動センター スモールオフィス No.13

担当窓口連絡先 070-9002-3325

2022登山祭典

秋の1dayハイクに出掛けてみませんか!

実施決定! 10月23日(日) 〈雨天中止〉



エリア・目的地	集合場所	歩行時間	コース	参加費	担当山岳会・申込先	定員	締切
<b>A</b> コース <比良エリア> 蓬萊山	JR湖西線 蓬萊駅 <b>7:40集合</b>	約7時間 (雨天中止)	JR蓬萊 ~ 薬師滝 ~ 小女郎ヶ池 ~ 蓬萊山 ~ キタガカ道 ~ JR志賀駅	保険代他 500円	【滋賀山友会】 (豊田) toyoda@eos.ocn.ne.jp	一般 5名 会員は 制限 なし	10/13
<b>B</b> コース <湖北エリア> 山門水源の森 東ヶ谷山	JR各駅 ・堅田 7:30 ・小野 7:40 ・和邇 7:45 ↑上記いずれかでバス乗車	約4~ 5時間 (雨天中止)	西浅井町・山門水源の森入口~ 山門水源の森 ~ 東ヶ谷山~ 大浦越 ~ 国道161号線 (敦賀市山中)	・当会員・会友 ・会員家族 →2500円 ・一般 3500円 バス代・入山協力 金・保険代等含む	【比良雪稜会】 (西村) kazuyo-buna @r.river.sannet.ne.jp 090-8932-2460 077-594-0454 (FAX可)	45名	10/17 定員に なり次第 締切
<b>C</b> コース <大津エリア> 音羽山	京阪 京阪膳所駅 <b>9:00集合</b>	約5時間 (雨天中止)	京阪膳所駅 ~ びわこ放送 (東海道自然歩道) 音羽山 ~ 逢坂山陸橋 ~ 蟬丸神社 長安寺 ~ JR大津駅	保険代他 300円	【ちごゆり山歩会】 (柴田) 0771-23-0845 (TEL・fax) ※コロナ状況で中止もあり	10名	10/16
<b>D</b> コース <比良エリア> 釣瓶岳	比良 イン谷口 <b>8:00集合</b>	約8時間 休憩含 (雨天中止)	イン谷口 ~ 北比良峠 ~ 八雲ヶ原 ~ ナガオ ~ 釣瓶岳 ~ 細川越 ~ 北比良峠~イン谷口 <健脚向き>	保険代他 300円	【彷徨倶楽部】 (谷内) tomohira3rose @rouge.plala.or.jp 090-2280-9979	10名	10/19
<b>E</b> コース <京都北山> 皆子山	JR湖西線 JR小野駅 <b>8:00集合</b>	約5時間 (雨天中止)	ヒノコ(百井川・大見川分岐) ~ P889 ~ 皆子山 ~ P889 ~ ヒノコ	当会会員外 500円	【シャクナゲ遡行クラブ】 (太田) 090-2283-1620	クラブ会 員以外 3名	10/15 ※県連会員限定 とします
<b>F</b> コース <鈴鹿エリア> 日本コバ	道の駅 「奥永源寺溪 流の里」 駐車場 <b>8:00集合</b>	約6時間 休憩含 (雨天中止)	道の駅~藤川谷~虎ノ穴 ~狸ノ穴~山頂~分岐~ 大谷林道分岐~政所~道の駅	保険代 100円	【湖南岳友会】 (村田) (PC) k-hiyake @hera.eonet.ne.jp (携帯) k.hiyake47 @gmail.com	一般 15名 ・ 会員制 限なし	10/17

◇天候やその他の事情で、コースを一部変更する場合があります。歩行時間はおよその目安です。

【問い合わせ・申し込み】

参加ご希望の方は、申込先へ電話、FAX、メール等でご連絡下さい。定員があるコースはお早めに願います。

**住所、氏名、年齢、携帯TEL、緊急連絡先名・携帯TELを明記。参加費は当日徴収致します。**

【持ち物】

昼食、飲物、雨具、防寒具、地図、着替え、ゴミ袋、健康保険証(写し)など  
登山に適する服装と靴でご参加願います。なお、マスク着用・手指消毒・検温は厳守願います。

【注意事項】

各コースとも、集合場所までとその先一部の交通費は参加者の個人負担となります。  
主催者は、事故の場合可能な範囲で応急手当をしますが、その後の責任は一切負いません。  
参加者それぞれの責任に於いて行動して下さい。当日体調が良くない方は、申込先に連絡のうえ参加を見合わせて下さい。



(交流登山案内)

## 大和三山

(畝傍山～香具山～藤原宮跡～耳成山)

この例会は、橿原市にある大和三山を訪ねるウォーキングです。近鉄橿原神宮駅から橿原神宮の境内を抜けて万葉集にある畝傍山(199)に登り、神武天皇陵、本薬師寺跡、紀寺跡と歩き香具山(152)に登りお昼にします。天香具山神社に下り藤原宮跡を見て耳成山(139)に登り、近鉄大和八木駅で終点です。(約14km)

近鉄京都駅から橿原神宮前駅まで特急で1時間です。歩行時間は約5時間です。たまには、ゆるい例会もいかがですか。残暑の中で汗を流した後、打ち上げにBでも…。

日 時:2022年9月3日(土)

集 合:近鉄京都駅改札前 8時30分 (45分発橿原神宮駅前行特急に乗車)

コース:近鉄京都駅＝橿原神宮前駅～橿原神宮～畝傍山～神武天皇陵～本薬師寺跡～香具山～藤原宮跡～耳成山～大和八木駅＝京都駅

注)コースは近鉄てくてくマップ⑨を参考にします。(当日配布)

難易度:体力★★☆☆☆ 技術★☆☆☆☆

持ち物:水、弁当、日帰装備

交流登山受付担当:比良雪稜会 藤野 メール: [kawahaakebono@gmail.com](mailto:kawahaakebono@gmail.com)

携帯 : 090-2040-4995

受付締切:8月27日 ※下記の申込者情報を厳守願います。

参加制限:車道歩きが多く安全確保のため参加者数を制限することもあります。

中 止:雨天予報で中止する場合は前日の正午までに連絡します。また、今コロナの第7波が心配されますが急激に感染が拡大した場合は中止も考えます。



※申込時の注意: 申込は必ずメールでお願い致します。

申込者の以下の情報をメールでお知らせ下さい。登山計画書の作成に必要となります。

①所属会名 ②氏名 ③住所 ④生年月日 ⑤携帯番号 ⑥血液型

# ＜緊急募集＞交流山行 案内 NO1

## 丹後 由良ヶ岳、赤石岳

CL 渡壁芳房

♪ 丹後の山々に登って、大江山の小屋に泊まります ♪

- ◇日 程            **2022年 9月3日(土) ～ 4日(日)** (1泊2日)
- ◇集合場所        JR 南草津    7時
- ◇行 程            9/3     南草津駅 – (京滋バイパス) – 丹後由良ヶ岳 – 大江山の小屋  
          9/4     大江山の小屋 – 鬼嶽稻荷 – 千丈ヶ嶽 – 赤石岳 – 大江山の小屋 – 南草津駅
- ◇装 備            地図、コンパス、ヘッドランプ、行動食2日分、マイテント希望の人はテント  
                      あればインナーシュラフかシュラフカバーを。
- ◇その他            今回の山行は、交流登山となり(人数が増えそうなので)男女別棟とします。  
                      ※お酒をたしなむ方は、個人でご用意ください。
- ◇申込締切        8月29日(月)
- ◇申込担当        渡壁芳房  
                      ※**受付担当：湖南岳友会 村田啓二**    メール [k-hiyake@hera.eonet.ne.jp](mailto:k-hiyake@hera.eonet.ne.jp)  
                      ※申し込みはEメールで、所属会、住所、氏名、連絡先を明記し、「村田」まで
- ◇その他            車提供の有無、定員をお知らせください。一応「風呂セット」も準備願います。  
                      大江山連峰については赤、赤トレイルで検索出来ると思います



由良ヶ岳



大江山

## 野坂山地・風力発電計画地における観察会（ご案内）

（7/3に豪雨のため中止になった観察会の再企画）

庄部谷山から芦谷山の尾根には、既に風況観測機が3本設置され、ブナ林を削って幅2mの作業道が敷設されました。観察予定の・806～・866（芦谷山）は、まだ伐採されずに残っています。

青木先生が作ってくださった稀少種に関する資料を参考に、湯本貴和先生のお話を聞きながら歩きます。

★予 定 日 9月6日（火）（予備日 9月8日（木））

★時間・場所 「道の駅熊川宿」7:00集合（下山予定：17：00。帰宅予定：20：00頃）

★コース予定 熊川宿道の駅→松屋→（折戸谷林道）→送電線下の広場P  
～（折戸谷枝谷）～新庄乗越～・661～・806～・866（芦谷山）（往復）  
時間があれば、・806から15分くらいの所にある風力観測機を見に行きます。

★申込み先 滋賀山友会・倉内光代  
・電話：080-1425-8167、メール：[k-kurauchi@za.ztv.ne.jp](mailto:k-kurauchi@za.ztv.ne.jp)  
・予備日が参加可能かどうかもおご連絡ください。  
・締め切り：9月1日（木）  
・定員：先着20名

◇講師・湯本貴和さん：草津市矢橋町在住。以前の勤務先：京都大学霊長類研究所。

以前の職業：総合地球環境学研究所（地球研/RIHN）。専門：生態学。

主要著書：『屋久島-巨木と水の森の生態学』（講談社）、『熱帯雨林』（岩波新書）。

\*

\*

\*

福井県三方郡美浜町にある野坂山地の野坂岳～庄部谷山の尾根筋には、胸高周囲300cm以上、300年生きてきたブナの巨木が50本以上あります。このブナの巨木が、風力発電計画事業の下に伐採されようとしています。

福井県・滋賀県・岐阜県境のブナの森は自然豊かでイワナや山菜、キノコをはじめとして古来より地域に恵みをもたらしてきました。またイヌワシ・クマタカの希少な生息地であり、サシバ・ノスリ・ハチクマ等猛禽類の渡りの経路でもあります。電力を得る為にこうした貴重な自然と巨木が伐採され破壊されようとしています。

再生可能なエネルギーへの解決策は多々あります。現在まで人を含む動植物、営々とその「生」を育んできた豊かな自然が、ウインドファーム事業により破壊されれば、再生は極めて困難になります。この機会にみんなで考えてみませんか。

<案内>

## ご案内

### 比良雪稜会 山と自然の写真展

開催日時：9月8日（木）～13日（火） 10:00～17:00

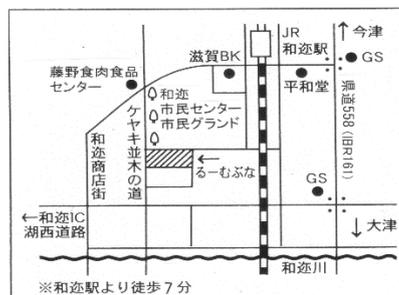
<入場無料>

会場：喫茶&ギャラリー

ぶな  
るーむ 櫛

大津市和邇今宿 800-1

TEL：077-594-3573



展示写真 ・ 会員のお気に入り写真 約 30 点

県内外の山行及び海外トレッキングにおける力作です。

・ 懐かしの例会山行写真 約 30 点

拙い写真ですが、ご観覧いただけたら幸いです。

山談義が出来たら嬉しいです。

ぜひお気軽にお越しくださいませ。

お待ちしております。



## 初級登山教室報告 八淵の滝沢登り講習

【日 時】 2022年7月23日（土）

【講師およびスタッフ】 T内（彷徨倶楽部）、N森（彷徨倶楽部）、M田（湖南岳友会）、K嶋（比良雪稜会）、K口（滋賀山友会）

【受講生】 S水（比良雪稜会）、N村（比良雪稜会）、S藤（比良雪稜会）、S口（滋賀山友会）、  
T本（滋賀山友会）

【講習の目的】 沢登り入門

### 【行 程】

9：10 ガリバー旅行村駐車場着  
9：30 駐車場出発  
9：40 林道終点登山道入口  
10：10 入渓点で打ち合わせ・衣服調整（10分休憩）  
10：20 遡行開始  
10：55 魚止めの滝  
11：10 唐戸（空戸）の滝、クサリとはしごの巻き道  
11：30 ワサビ谷分岐（25分昼食休憩）  
12：00 大すり鉢からのシャワークライミング（ロープを出す）  
12：35 貴船の滝左岸巻き道、ステップとはしごを登る  
12：45 貴船の滝上部（5分休憩）  
13：40 七遍返しの滝  
14：14 オガサカ分岐手前で登山道に上がり下山開始  
14：55 貴船の滝（巻き道を下降）  
15：50 駐車場到着、着替え等  
16：15 反省会・解散

### 【報 告】

梅雨の戻りのような不安定な天気だったが、雨はほとんど降らなかったため八池谷（八淵の滝）の沢登り講習を実施した。

400円の駐車料を払ってガリバー駐車場に車を止め、ハーネスやヘルメットを着用して入渓点をめざす。砂防ダムの上部の入渓点で靴や衣服の調整をして、打ち合わせ。滑りやすい岩の上や川の中の足場などをよく確かめて遡行することなどの注意を受けてから出発した。

最初の滝魚止めの滝は左岸の大きな岩の間を登って進んだ。続く唐戸の滝は右岸を大きく巻いて登山道から再び溪流に戻り、左岸から大きな岩が崩れている溪流を進み、その上の滝を大きく巻く鎖場を登った。ステップやクサリがあったもののやや高度感のある場所で緊張して臨んだ。

大摺鉢を越えた所で昼食休憩をとり、午後からは八淵の滝の下からシャワークライミング。ロープを出して確保しながらの滝登りで滝の流れを全身で受け止めながらの楽しい遡行を経験した。そのあたりから濡れた体に風が吹いてきて、少し寒さを感じながら順番を待つことになった。

さらに登山道を進んでいくと貴船の滝。落差 30 メートルはある大きな滝の左岸をクサリやステップを使いながら登っていく。滝のしぶきが周囲に広がって清涼感あふれるスポットになっており、滝の頭のすぐ横で休憩をした。

貴船の滝の上部からまた溪谷に入り、岩の間を流れる小滝を登ったり、大きな岩の横をよじ登ったり、重なった岩の下をくぐり抜けたりと様々な体験をすることができた。

沢登りは七遍返しの滝を過ぎたチョックストーン滝のあたりで終了し、登山道を下山して、16 時前に駐車場に到着、着替えやトイレを済ませて反省会を行なった。

受講生からは、やや緊張しながらも変化に富んだ八淵の滝での沢登りの楽しい経験が出来るなど時宜を得た初級沢登り講習の企画だった。

### 【一口感想】

沢登り入門とは言え、今日の八淵の滝遡行は水量が多く、厳しいものがありました。私も、最初に取り付きを> 間違い皆さんに迷惑をかけました。七遍返しの滝の少し上で終了しましたが開始時間が遅く予定地点まで行けませんでした。

改善を要する点は集合時間を早める、準備をスムーズにするとか（自分自身が遅かったので反省）1 回では消化不良でせめて> 2 回位は実施する等々あると思います。足元が悪かったですが滑落など事故無く終了できたのでほっとしています。

参加者の皆さんには次回の岩登りにつなげればと期待しています。

(T 内)

沢登りは暑い時期に最適ですが、ゲレンデクライミングのようにシステムで緻密に安全を確保されているというよりは、遡行者の技術的な確信に依存している部分が多く、沢の状況そのものも頻繁に変化しますので、楽観的予測を元に行動すると進退窮まることになりかねません。水流や河床の状態をよく見て「ここまでは行ける」と確実に判断できる目を養うことと、「もしここで落ちたらどうなるか？」を常に考えるようにすること、適切な撤退判断が下せることが重要だろうと思います。

僕自身への自戒も込めてですが、リスクと隣り合わせであることを十分に意識しながら楽しんでいただければと思います。次の機会があれば、今度は広谷まで遡ってみたいです  
ね。  
(N 森)

座学から実技まで、時間的な余裕がなかったのですが、皆さんの装備は完璧でした。沢の状況は濁りはなく、水量が少し多い状況で安心しました、蛭の被害も少なく、皆様お疲れさまでした。

(M 田)

当日は、気温も上がらず、水量も多めと絶好の沢日和では有りませんでした。一年ぶりの沢は楽しかったですね。受講生の皆さんも一度と言わず何度か挑戦して欲しいです。

その中から、手や足のさばき方、ルートを取り方など勉強してもらえればと思います。

(K 口)

夏はやっぱり沢登りやネ！と言うには少し寒かったですが、一年に一回のペースでしか歩いてないですが、とても楽しく歩けました。当会から参加の受講生3名は多分、初沢登りだったと思います。これを機会に会でも例会で実施出来れば良いなと思っています。ありがとうございました。(K 嶋)

沢登りというだけでハードルが高く、不安でドキドキしていたが、水の中に入ってみると思ったより冷たさを感じることもなく、濡れても大丈夫！なことがわかると楽しく登ることができた。どこから登っていけばいいか教えていただきながら、どんどん進んでいくのは楽しく、今までの岩の経験も生かしているのかなと思った。今回、水量が多かったが、水の量によっても活動内容が変わっていきだろう。「沢は危険が伴う」と教えていただいた通り、安全には十分気を付けないといけないが、また沢登りをする機会が持てるといいなと思った。いろいろとお世話になりありがとうございました。(S 水)

初めての沢登り、実は、前日まで怖くて不安でした。そして、迎えた当日。沢での歩き方・歩くコースを丁寧に教えて頂きながら進むことができたので、いつの間にか沢の中が楽しくなっていました。また、登ることが難しい難所には、ロープを使って登る体験もさせてもらいました。また、手掛かり足がかりのない岩穴の中から上がれない時、屈強な山男お二人が、岩穴の私をスリング二本を使っていとも簡単に引き上げられたのにはビックリ！ここ何十年以来の驚きでした。

沢登りというなかなか出来ない凄いことを体験させて頂きました。講師さん、スタッフさん、受講生の皆さん、本当に有難うございました。

(S 藤)

沢登りの経験がなかったので、緊張しながらの参加でした。思ったより深く倒れそうになったり、どうやって岩を超えたらいいのか悩んだりしましたが、アドバイスを頂いたりしたおかげで、とても楽しく講習を終えることができました。機会があれば、また沢登り挑戦したいと思います。(N 村)

昨年初めて沢登りを体験していたものの、どれとして同じ沢はなく新鮮だった。また、同じ沢でも前日までの天候や雨量で随分と環境が変わることを知った。水の深さ、水流の勢い、石の表面の滑り具合、石から石への距離感、ホールドの確かさ・・・どれも見誤ると危険で、感覚を研ぎ澄まして全身で覚えるしかない気がする。

それにしても、溪流は実に美しく普通の登山では味わえないダイナミックさも魅力だ。入溪可能な時が夏の短い期間に限られることも惹かれる理由かもしれない。楽しく学ぶことができました。(S 口)

沢登りは学生の頃に行ったことがあります。足もとの悪い川底でひっくり返ったり、滝の高巻きで滑ったり、ズブズブの靴やパンツで稜線への急登を詰めたりとあまりいい印象はなかったのですが、今回の山行で少し楽しさも味わえたかなと思っています。

沢登りの技術は、安全に歩くために石の上や滝の岩面などを見極めるのはなかなか難しいと思いました。今後は少しずつ楽しみながら、沢登りに慣れていければと思っています。  
講師・スタッフの皆さんありがとうございました。

(T本)



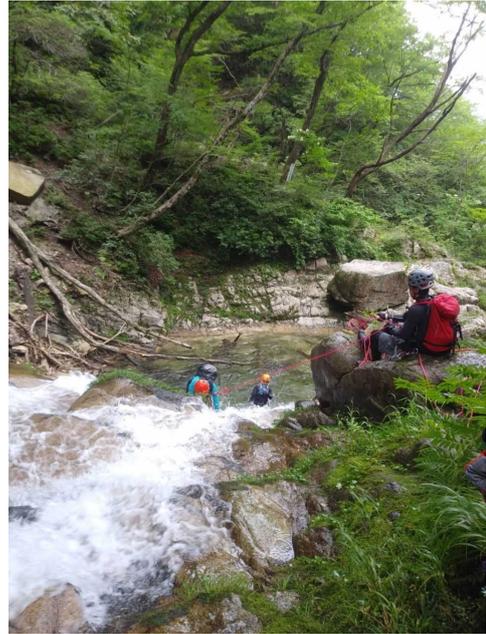
入溪点で靴や服装を整える



足下を確かめながら遡行を始める



貴船の滝の左岸の鎖場を登る



ロープを出してシャワークライミング



滝を巻いて遡上していく



七遍返しの滝付近を遡行、少し慣れてきた



駐車場まで帰ってきて反省会

## 北アルプス・餓鬼岳 ステップアップ登山講座 2022 報告

～よくきた餓鬼岳～

乾久子／彷徨倶楽部

餓鬼岳って聞いたことがありますか？ そもそも“餓鬼”って何？ “餓鬼とは、三途・五趣（五道）・六趣（六道）の一つ。餓鬼は常に飢えと乾きに苦しみ、食物、また飲物でさえも手に取ると火に変わってしまうので、決して満たされることがないとされる”とか。過去の山行記録を読むと、どうやら地獄のような山に行くらしい。少し躊躇したが“コマクサの群落が見られるかも・・・”という講師の言葉に惹かれて行くことにした。

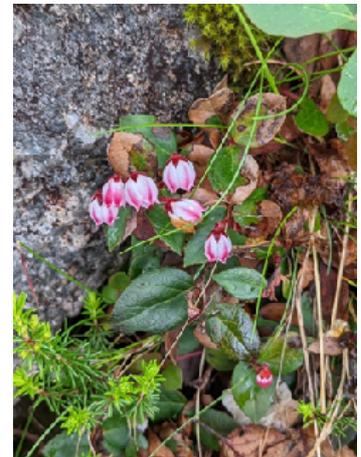
“餓鬼岳（がきだけ）は、北アルプス常念山脈にある標高 2,647m の山”これだけで餓鬼岳の位置や登山口がわかる人はそう多くはないと思う。常念山脈といえば北限は燕岳と思われているが、実はさらに北に延び餓鬼岳まで続いている。餓鬼の棲む山の伝説もあり、“いつ着くんだ地獄”や、慈雨の様な小雨や花があって“ゴクラクー！”とホッとするのも束の間、“どこまで続くんか笹藪地獄”や鎖場もあり、アクティビティ満載の飽きさせない山だった。今年は季節の移ろいが早いそうで、楽しみにしていたコマクサのシーズンは過ぎていたが、シラヒゲソウやクロマメノキなど久しぶりに目にする花もあり、夏の山が楽しめた。



餓鬼小屋のお札



シラヒゲソウ



クロマメノキ

**講習の目的：**コマクサの群落とちょっとハードな山を頑張る。（講師曰く）

**メンバー：**

講師、L：秋田誠（彷徨倶楽部）

受講生：福井敏文（滋賀山友会）、其阿弥道子、木村敦子（比良雪稜会）、乾久子（彷徨倶楽部）

**コースタイムと天気：**

7/30（土）晴れ時々曇り、一時小雨

白沢登山口 7:35⇒最終水場（標高 1,470 m）10:25～10:35⇒大尻山 13:45～13:50

⇒百曲り取付き 15:30⇒餓鬼岳小屋 16:40

7/31（日）晴れ時々曇り

餓鬼岳小屋 6:40⇒大尻山 8:50～9:00⇒最終水場 11:10～11:20⇒白沢登山口 14:10

**概要**

往路：林道をしばらく進むと、やがて沢沿いの細い登山道となり、栈道や鎖場のトラバースが続いた。栈道は固定が外れて甚だ心細いものもあった。上を見たり足元を見たりして登って行くと、地図には書かれているが、紅葉の滝はどこかわからないまま通過。梅干、芍薬甘草湯、アミノバイタル、効き目のありそうなものを総動員して登った。最後の水場で休憩し、あと 1,200 m 登るのかと地図を眺める。“そうよ。武奈ヶ岳に登るのと同じ。”と自分を無理やり鼓舞し、大尻山までと歩き出す。等高線の間隔の狭さを体全体で感じる。急登はなかなか安定した休憩場所を与えてくれない。次第に皆無口になり、脳

内BGMは♪ドナドナ♪ やっと着いた大風山(2,072 m)は“ここが山頂?”と言うような笹藪の中のただの通過点。大風山でようやく激登りから解放されたものの、中途半端な下り道に遭遇すると、“この下った分をまた上るのか”と絶望感に襲われる。“標高差1,600mってこんなだったっけ? 黒戸尾根の時よりしんどいのは年のせい?”とぼやいていたら、遠くで雷が鳴った。気持ちは焦るが重い足取りに変化はない。さらに小雨までがばらつき始めたが、汗まみれの体には涼しく心地よかった。「あと15分」と書かれた板切れに励まされ、ようやく小屋の赤い屋根が視界に飛び込んできた時は“やれやれ、やっと休める”と安堵した。小屋は30畳ほどの大部屋と厨房のみ。昭和テイストの古き良き時代の山小屋だった。夕食はチラシ寿司、肉じゃが、きんぴら、そしてデザートに-halfカットのグレープフルーツ。塩気の効いたお吸い物が汗をかき過ぎた身体にしみ渡る。疲れ過ぎたのか食欲がなく、小屋の人の許しを得てチラシ寿司は残した。まあこれはよくあること。空腹で目覚めた夜中にヘッドランプをつけてこっそり食べた。

復路:5時起床、小屋に荷物を置き、登り10分の餓鬼岳頂上に立った。空は晴れ渡り、朝日を背にした私達の影が山頂に長く伸びた。360度遮るもののない空間に幾重にも連なる緑の山並み。遠くに特徴のある槍の穂先も望める。できることなら燕岳方面から餓鬼岳をめざしてみたいと、思わずにはいられなかった。稜線に後ろ髪を引かれながら下山開始。昨日の登りの際に、濡れていたら嫌だなあと思った崖っぷちの踏跡も、ロープの世話になることなく慎重に通過して、無事登山口に戻った。ちょっとハードどころではなかったけれど、全員がんばって無事下山。

### テーピング講習

夕食後、受講生にテーピングテープが配られ、足首内反捻挫のテーピングとRICE [R: Rest(安静)、I: Icing(冷却)、C: Compression(圧迫)、E: Elevation(挙上)]について講習があった。テープには、痛みの緩和とケガ予防のサポートに用いられる伸縮性のキネシオテープと、患部の固定に用いる非伸縮性のいわゆるテーピングテープがあることを学んだ。分かっていたつもりでも忘れていたり、誤解していることもあり、復習できてよかった。



大風山山頂



餓鬼岳小屋の夕食



餓鬼岳の標高断面図

### ひと口感想

- ・なかなか手強い山でした。二度行くことは無いでしょう。今回はかなり参りました。初めての経験も多く、鍛えられました。行ったことのない山域も多いので今後の計画についても楽しみにしております。(福井敏文)
- ・YouTubeでの予習の斜め上をいく登山道でした。2日間とも滝汗で、汗疹だらけになりました。餓鬼岳小屋と山頂からの景色がご褒美でした。(木村敦子)
- ・本当になかなか凄い登りでしたが、お花に癒され、木陰の道でよかったです。山頂は大パノラマでいつまでも眺めていたい場所でした。いつもと違う角度からの北アルプスも面白いですね。(其阿弥道子)
- ・餓鬼岳修行山行、お疲れさまでした。沢沿いのアスレチック登山道から一気登り急登1600m。汗だらだらでMの世界を満喫しましたね。足首内反ねん挫は最も多い足の故障です。特に下りで、RICEとテーピング、しっかり身につけましょう。(秋田誠)

## ヒヤリハットで済まなかった事故

8月号県連ニュース議事録の中で報告しました事故について、注意喚起をお願いしたく報告させていただきます。

事故状況 事故一報からの抜粋 比良雪稜 40代男性

2022.6.19 午前8時30分

山域 六甲・百丈岩

10kgの歩荷トレで、百丈岩登山道を歩いていた下山終盤で起こった。

平坦な歩きのところで、右足で拳より少し大きい石を踏み、滑って右に捻挫した。

傷病名 裂離骨折・剥離骨折

誰にでも起こりうる事故です。

事故は他人ごとではありません。明日は我が身と思って行動してください。

「山の事故をゼロに」ではなく、「防ぎ得た事故をゼロに」各自が気をつけましょう。

<理事長 宮内>

## ぐうたら会長のつぶやき

皆さま、毎日暑い日が続きますが体調はいかがでしょう？ 私は街頭補導で 2 時間ほど町中を歩いて、少し体調不良になりました。寝込むことはありませんがポーとする日が何日か続きました。無理をせずに涼しい部屋で一日を過ごしましょう。

先日ある飲み会で、96 歳と 88 歳の方が皇子山公園から長等山三角点、長等山、小関越から逢坂山を越えて大谷まで歩かれた話を聴きました。少し前に私もそのコースを計画し歩いたのですが、小関越でリタイヤし車道を何度も休憩しながら上栄町まで下りました。私より二回り近く高齢の方が歩かれたと聞いて凄いなと思いました。年を取ると元気さの個人差が大きくなります。どこに差がつく原因があるのでしょうか？ 毎日散歩はしているが、特にトレーニングはしていないと仰っていました。でも散歩というのが毎日 380m ほどある八王子山まで登っているとの事。それがトレーニングでしょうと突っ込みましたが……。身体は怠け者で使わないとすぐに手抜きをして楽をしようとして筋力が落ちてしまうそうです。きっと頭もそうだと思いますが……。元気の秘訣はやっぱり歩くことです。山登りは引力に逆らって登り、引力に引かれながら下ります。歩くことによって心肺機能も高まるし、筋力もアップします。また常に次の行動……手や足をどこに置くか、障害物はないかなど考えながら歩くことによって、判断力や決断力も身に着きます。どれだけ頭を使い、どれだけ体を使ったかによって、年をとってからの元気度に差がつくのでしょう。そんな意味でも山歩きは頑張っ続けたいものです。もちろん個々の体力や能力・脳力？に応じてコースを選び、行動を規制するのも必要です。

事故なく、息を引き取る瞬間まで山歩きができるのが理想ですかネ。

先日、会の夏山集中の帰りに、徳澤から上高地まで何度も休憩しながら 4 時間かかって歩きました。何年か振りにテントを持って、本当にへばってしまいました。まだ筋肉痛が残っています。その時間の合間に話したのですが、人間の価値ってどこで決まるのだろうか、もっとも価値のある人間とはどんな人間なんだろうか、なんて他愛のない話で時間つぶしをしながら歩きました。私の個人的な意見なんですが、人間の価値は、地位や、名誉や財力の大きさではなく、どれだけ大きな、多くの可能性を持っているかだと思います、その意味では、世界中で最も価値のある人間は、生まれ落ちたばかりの赤ん坊だと思います。彼ら、彼女らは無限の可能性を持っています。その可能性を刻一刻とすり潰しながら人生の時間は進んでいきます。何が出来、何をし、何ために生きるのかなんて疑問を考え悩むうちに年齢を重ねてしまいます。それでもガツカリしないで下さい。人間は死ぬ瞬間まで可能性を持つことができます。どんな小さな可能性でも持つことができるのは素晴らしい事だと思います。私は息を引き取る瞬間には、満足して死ぬのではなく、あれもやりたかった、あれも出来た筈だと、不満を感じながら人生を終えたいと思っています。閻魔の前で、まだあれも出来ていない、あれもやりたいと愚痴を言いたいと思います。

それはそうと、天国ってどんなとこなのでしょうネ、昔「帰って来たヨッパライ」という歌がありました。～～天国良いとこ一度はおいで、酒は上手いし、ネエチャンは綺麗だ～～。もし行って酒が不味くて、ネエチャンが綺麗でなかったら、この世に戻してもらえるんでしょうか。今からそれが心配で夜も眠れそうもありません。ますます酒の量が増えそうだ……。

他愛のない愚痴を読んでいただきありがとうございます。

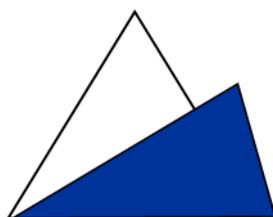
行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
9	7	第5回ZOOM理事会				
	10	初級実技(金毘羅ゲレンデ)		3	交流山行 大和三山	雪稜
				3~4	交流山行 由良ヶ岳 山荘泊	岳友
	13	座学・入門登山教室		4	金勝アルプス	ちご
				6	交流山行 野坂山地観察会	山友
				11	牛山、鳶岩	雪稜
				17	福井 鬼ガ岳	彷徨
				18	ハイキング部例会	山友
				17-19	七倉～船窪小屋～高瀬ダム 9/16前夜発	岳友
	21	初級座学(読図・パリエーションルート)				
	22^25	ステップアップ登山講座2022(5) 北アルプス・横尾本谷～槍ヶ岳		22-25	皇海山	彷徨
				25	行市山	雪稜
				26~28	立山(紅葉)	ちご
10	1	初級実技 鈴鹿		2	鈴鹿縦走④安楽越～832m峰	雪稜
	4	座学・入門登山教室		9	八幡山縦走	ちご
	5	第6回ZOOM理事会		8~10	丹沢～大菩薩峠	雪稜
				8~10	八ヶ岳	岳友
	15	初級実技 しし岩		9-10	創立50周年記念山行「銀杏峰」	山友
				16	ハイキングオールラウンド合同例会	山友
				23	登山祭典(皆子山)	シャク
				23	登山祭典(日本コバ)	岳友
				23	登山祭典(山門水源の森・東ヶ谷山)	雪稜
	23	登山祭典		23	登山祭典(ナガオ～釣瓶岳)	彷徨
				23	登山祭典(音羽山)	ちご
				23	登山祭典(比良・蓬萊山)	山友
				30	鈴鹿縦走⑤832m峰～小社峠	雪稜
				30	創立50周年記念祝賀会	山友
				3	比良山系水質調査・放射線測定	雪稜
				5-6	越前甲～加賀大日山	彷徨
	9	代表者会議(明日都浜大津)		6	交流山行 二上山(奈良)	岳友
				6	芋煮会(場所未定)	ちご
11				12	湖東三山ウオーク	彷徨
				19~20	銚子ヶ口～イブネ 鈴鹿の秘境	岳友
				20	冠山	雪稜
				20	高取山(西明寺)	ちご
	30	初級登山教室・雪山入門		27	鈴鹿縦走⑥小社峠～小岐須峠	雪稜

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部

スキーネット:山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀 初級:初級登山教室



2022年10月号の原稿は、9月15日〆切です。

原稿の投稿先は 宮内 [m-miyauchi@ares.eonet.ne.jp](mailto:m-miyauchi@ares.eonet.ne.jp)

藤野 [kawahaakebono@gmail.com](mailto:kawahaakebono@gmail.com)

菅 [nokomama.2016@gmail.com](mailto:nokomama.2016@gmail.com)

<機関紙部よりお知らせとお願い>

県連ニュースの編集は従来ワード文章を貼り付ける方法をとっていましたが、より簡便にするため、7月号よりPDFを繋ぎ合わせる方法に変更します。

目次表記はありますが、ページ番号の記載はなくなります。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

『県連ニュース2022年9月 NO.542号』

発行日：2022年8月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

TEL 080-4971-6231

〒520-0047

Email [shigarosan@gmail.com](mailto:shigarosan@gmail.com)

大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 1F

ゆうちょ銀行(店名418)

大津市市民活動センタースモールオフィス内

普通 0239956

メールボックス NO13

<http://shigarousan.jimdo.com/>

発行責任者 宮内 眞子

編集委員 藤野 健太郎 菅 泉